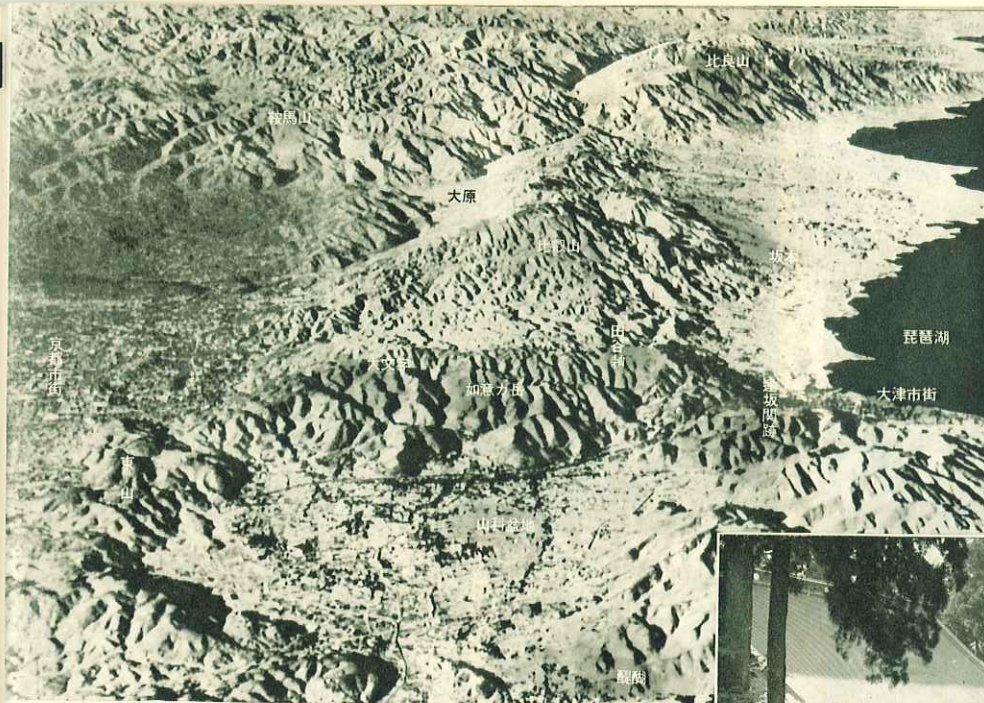


大津

大津は七世紀に天智天皇が一時都を営まれた地である。昔から京の玄関となり、港も栄えたまちで、湖にのぞみ景色もよい。三井寺は延暦寺の別院として開かれたが度々その僧兵に焼かれた。石山寺は東大寺の建造や紫式部の伝説で知られる。

比叡山から大津市街を望む(手前、比叡山ドライブウェイ) [48]

三井寺 [49]



比叡山
 比叡山が最澄(伝教大師)によって開かれたのは一二〇〇年ほど前である。いろいろこの延暦寺は京の朝廷とむすび、時の政治や経済に大きな特権をもってきた。古い法燈のもとに人里離れて多くの僧がここに学んだ。最近山頂までドライブウェイが通じた。北麓には「平家物語」に書かれた大原の里がある。

空から見た比叡山付近 [44]

延暦寺根本中堂 [45]



石山寺 [50]



三井寺 [49]



寂光院 [47]



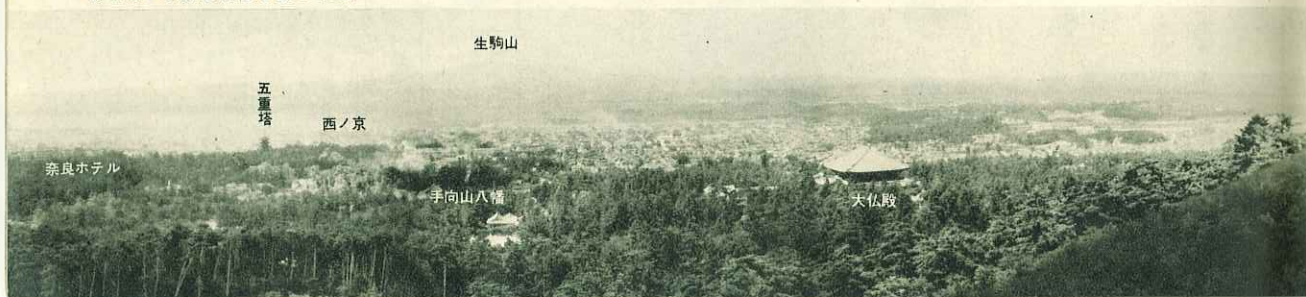
三千院 [46]



延暦寺根本中堂 [45]



若草山から奈良市街を望む [58]



生駒山

五重塔

西ノ京

奈良ホテル

宇向山八幡

大仏殿



本尊阿弥陀如来像 [53]

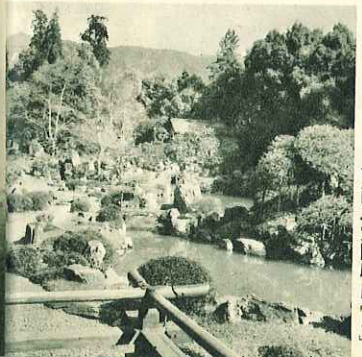
平等院鳳凰堂 [51]



[52]

宇治

平安時代には貴族の別邸や寺院が建てられ、源平いご京都攻防の第一線である宇治川には数々の血が流された。平等院は藤原道長の別荘をその子頼道が寺にしたもの。鳳凰堂や定朝作本尊阿弥陀如来は優雅な藤原美術の代表である。宇治橋は最初646年に架けられた橋。また宇治は茶どころ、名茶を誇る。

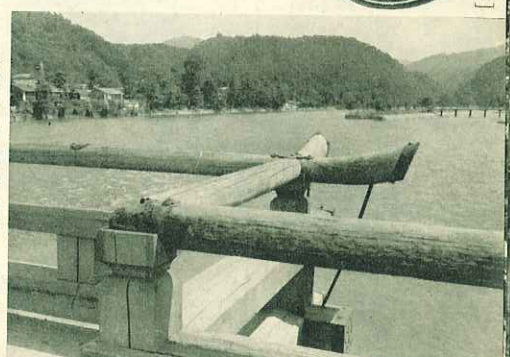


茶畑 [55]

醍醐三寶院庭園 [56]



宇治川と浮島(宇治橋より) [54]



大和は日本のふるさとである。おびただしい古墳や都の跡、数々の古社寺がここにある。大和は国のまほろば、たまたづく青垣、山こもれる大和し美わし。日本武尊望郷の歌(古事記)。元明天皇が中国の都長安にならって平城京を定めたのは七一〇年であった。それまで藤原京にあった大寺もここへ移り、七代七十余年の繁栄が続いたのである。都が平安京にかわり、西の京はさびれてしまったが、東の外京は東大寺・興福寺・春日神社の門前町として残った。これが今の奈良市である。人変わり時移った奈良のまちなを、若草山の上からながめよう。

若草山遠望(興福寺五重塔上より) [57]